

第 93 回 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 5 月 9 日(日) 14：00～15：00

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

< 報告事項 >

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ 新型コロナウイルス感染症専門家への意見聴取結果について本部員が報告があった。
- ◇ 経済対策関係団体への意見聴取結果について、各本部員から報告があった。

< 議題事項 >

- ◇ まん延防止等重点措置の延長に伴い、沖縄県対処方針の変更を決定した(5月31日まで延長及び措置内容の強化等)。
- ◇ 措置区域に、石垣市を追加することを決定した。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、普天間 環境企画統括監、日下 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、下地 農政企画統括監、島袋 土木建築部長、嘉数 商工労働部、真鳥 観光政策統括監、長嶺 会計参事、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、長嶺 企業企画統括監、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、木村宮古兼八重山保健所長

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】

- ✓ 5/8 の新規発生は 93 名、合計 12,992 名、入院中 395 名、うち重症 10 名、うち中等症 169 名、入院調整中 147 名、宿泊施設療養中 153 名、自宅療養 349 名で療養中患者計 1,044 名となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】

- ✓ 5/8 時点、米軍基地内で 1 名。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料3、3-1~3-8】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 療養者数、病床占有率、新規感染者数はいずれも第4段階にあり、引き続き感染まん延期にある。
 - ✓ 重症者病床占有率、感染経路不明な症例の割合、新規PCR検査の陽性率は第3段階にある。
 - ✓ 非コロナ病床の利用率は92.9%となっており、連休以降上昇傾向にある。
 - ✓ 直近1週間の人口10万人あたりの新規陽性者数は、29.89であり、全国平均よりも高い状況が続いている。
 - ✓ 各保健所管内ごとの新規感染者数比較について、那覇、中部、南部の各保健所内においては減少傾向にあると思われる。宮古管内も先週に比べて減少している。
 - ✓ 新規感染者に占める60歳以上の割合は、14.0%となっている。
 - ✓ 重症者・中等症者の合計は188名となっている。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料4】

- 総括情報部から、宿泊療養施設の入居状況等について報告。
 - ✓ 那覇市は2カ所が稼働しており、リゾネックス那覇で31人、東横イン旭橋駅前で100人が療養している。
 - ✓ 他の地域については、北部で2人、宮古で20人が療養中となっている。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料5、5-2】

- 総括情報部から、KDDI Location Analyzerによる分析結果を報告。
 - ✓ 繁華街エリア及び商業エリアの人流について、前週よりも増加している。

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの発生状況等について報告。
 - ✓ 最近では、那覇市の飲食店でクラスター発生が確認されている。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料6】

- 総括情報部から、宮古・八重山の感染状況について報告。
 - ✓ 宮古は感染者数、療養者数ともに減少傾向にある。
 - ✓ 八重山は飲食店を中心に感染が広がってきている。

(8) 変異株について【資料7】

- 総括情報部から、変異株の解析状況及び患者発生状況について報告。
 - ✓ 5/3の週で計147件の検査で陽性が87件となっており、N501Yの割合は59.18%。

(9) ワクチン対策チーム進捗状況について【資料8】

- 総括情報部から、医療従事者向け進捗状況と、住民向け進捗状況について報告。
 - ✓ 医療従事者向けのワクチンは、第1弾から第3弾までで合計49,920人分で、対象者数の87%。5月6日時点の接種は53,444回が終了。
 - ✓ 高齢者向けのワクチンについては、6月中に沖縄県高齢者人口332,310人の104.8%分が納入される予定である。

(10) NAPP・TACO・RICCAの運用状況等について【資料9】

- 文化観光スポーツ部から、NAPP・TACO・RICCAの状況について報告について報告。
 - ✓ NAPPについて、4/26の週の受験者は821名で、その内4名が陽性であった。
 - ✓ NAPPについて、GW期間中(4/29~5/5)の受験者は856名、その内3名が陽性であった。

- ✓ TACO について、4/26 の週のサーモグラフィー通過者は 149,680 人、その内の発熱者は 0 人であった。
- ✓ TACO について、GW 期間中（4/29～5/5）のサーモグラフィー通過者は 183,302 人であった。
- ✓ RICCA について、5/6 時点の登録者数は 91,816 人となっており、前回より増加している。

➤ 総括情報部から、検査実績等について報告。【資料 10】

- ✓ 安価な PCR 検査補助の実績について、先週（4/26～5/6）は 3,737 人が受験した結果、陽性者 79 人、陽性率 2.11%であった。
- ✓ PCR 検査強化事業（介護従事者対象）について、これまでに 5,183 人が受験し、陽性者 2 人であった。

（1 1）新型コロナウイルス感染症専門家の意見聴取報告について

➤ 総括情報部から、感染症専門家会議委員に対する意見聴取の結果を報告。

- ✓ 解除の目安について、A 委員より、解除の基準に達した場合でも、更なる努力目標を提示し、県民のモチベーションの維持を図ることが望ましいとの意見があった。また、C 委員からは、新規感染者数が十分に減少していない状況で解除した場合、医療体制が夏に再度逼迫する可能性があるため、前倒しの解除は避けたほうがよいとの意見があった。
- ✓ 措置区域について、B 委員から、石垣島は名護市より数が多く、この点の説明の準備が必要との意見があった。
- ✓ 対処方針全般について、D 委員から、水際対策として、渡航前の PCR 検査の仕組みの構築、飲食店に対する実効性のある感染対策評価、高齢者施設・精神科病院スタッフへのスクリーニング検査の実施等の意見があった。
- ✓ 対処方針全般について、E 委員から、集客施設（1,000 m²以上）への営業時間

短縮要請は不要であること、空港における PCR 検査態勢の立て直しが必要であること、再開された介護従事者向けスクリーニングに関する呼びかけの必要性、県の支援によるワクチン接種会場の常設の必要性、渡航に関する認証制度の検討について意見があった。

(12) 経済対策関係団体の意見聴取報告について

- 商工労働部から、経済対策関係団体に対する意見聴取の結果を報告。
 - ✓ まん延防止等重点措置の期間延長の必要性について説明した後、意見交換を行った。
 - ✓ 国が実施している雇用調整助成金の継続・拡充が必要との要望があった。
 - ✓ 県の協力金について入金までのタイムラグがあるため、県による無利子融資等のつなぎ融資について要望があった。
 - ✓ まん延防止等重点措置を延長する場合は、飲食店等の事業者及び県民に対し丁寧な説明が必要であるとの意見があった。
 - ✓ 営業時間の短縮について、20 時までの営業を 21 時まで延長してほしいとの要望があった。
 - ✓ まだ支給されていない協力金について、早急に支給するよう要望があった。
 - ✓ 医療体制が逼迫してきていることから、まん延防止等重点措置の延長はやむを得ないが、国及び県は事業者支援をしっかりと行う必要があるとの意見があった。
 - ✓ 他県では無料の PCR 検査を実施しているところがあるため、県でも同様の施策を検討してほしいとの要望があった。
 - ✓ まん延防止等重点措置の延長に関し、判断指標をどの程度まで下げるのか目標を示してほしいとの要望があった。
 - ✓ 飲食業以外の事業者に対する支援も拡充してほしいとの要望があった。

- ✓ ワクチン接種について、スピード感をもって対応してほしいとの要望があった。
- ✓ 意見への対応として、対策本部会議で報告し、必要な対策を検討すること、今後も官民協働の上、感染防止対策と経済対策を進めていきたい旨を回答した。

((1) ~ (12) についての主な発言)

- ワクチン接種について、歯科医師会との連携について質問あり。
→歯科医師によるワクチン接種のためには、市町村長による歯科医師会への要請が必要になってくることから、各市町村及び歯科医師会と連携しながら、歯科医師の活用を検討する予定であることを回答。

3 議題

(1) 「まん延防止等重点措置」期間延長に伴う沖縄県対処方針の変更について

- 総括情報部から、「まん延防止等重点措置」期間延長に伴う沖縄県対処方針の変更概要（案）について説明【議題 1-1, 1-2, 1-3】
 - ✓ 期間について、令和3年4月12日（月）～令和3年5月31日（月）まで延長する。
 - ✓ 措置区域について、これまでの10市5町に石垣市を追加し、11市5町とする。
 - ✓ 措置区域について、那覇、南部、宮古地域では、変異株が確認されていること、南部地域では市だけでなく町にまで感染が伝播していること、一部地域では感染者数の減少が見られるが、周辺の感染が続いていることから解除できる地域は無いと考えられる。また、石垣市については、連休中の5/3から連続して新規陽性者が発生し、直近では人口10万人当たり30となっている

ことから措置区域への追加を検討する必要がある。

- ✓ 大規模集客施設（1,000 m²超）について、特措法第 24 条第 9 項に基づく要請を実施し、それに併せて協力金（1,000 m²毎 20 万円×短縮時間÷営業時間 ※テナント 2 万円×短縮時間÷営業時間）を給付する。
 - ✓ 県民への要請事項として、特措法第 24 条第 9 項に基づき、路上・公園等における集団飲酒等の感染リスクの高い行動について、自粛の要請及び注意喚起を行う。
 - ✓ 事業者への働きかけとして、入場整理を徹底するとともに、その旨をホームページ等で広く周知するよう働きかける。
- 総括情報部から、まん延防止等重点措置の解除条件（案）について説明【議題 1-4】
- ✓ まん延防止等重点措置の解除条件として、①県の警戒レベルが第 3 段階であり、かつ、②新規感染者数が前週と比較して一定程度減少傾向にあることが必要。
 - ✓ 具体的には、判断指標である①療養者数が 329 人以下であること、②病床占有率が 70%以下であること、③重症者用病床占有率が 60%以下であること、④直近 1 週間の新規感染者数が 211 名以下であること、⑤感染経路不明な症例の割合が 70%以下であること、⑥新規 PCR 検査の陽性率が 7%以下であることが必要。
 - ✓ 判断指標以外の目安として、①重症・中等症数が 75 人～100 人であること、②入院患者数が 150 人～200 人であること、③新規感染者数が 210 人～280 人であることが挙げられる。

((1) の議題についての主な発言)

- ✓ 市町村と連携した取組について、巡回等の取組の徹底を求めるよう強い文言

を示した方がよい。また、宮古・八重山地域では感染拡大が心配される状況であるため、宮古・八重山事務所と連携し巡回等の対策を実施する必要がある。

→総括情報部より、市町村と連携した取組については、文言の検討をすること、宮古・八重山地域については、保健所のみでの対応ではマンパワーに限界があることから、両事務所との連携しながら対応していくことを回答。

- 最後に議題（１）「まん延防止等重点措置」期間延長に伴う沖縄県対処方針の変更について決定した。また、決定された内容について発表することを確認した。

4 その他

特になし。

5 閉 会